

2026

岐阜県文化財保護センター・岐阜県図書館連携企画展



いえ

はか

かま

急斜面の家と墓、そして窯



南青柳古墳鉄刀

－中濃の遺跡III－



南青柳遺跡弥生土器



砂行火葬墓



後平茶臼古墳埴輪

南青柳遺跡竪穴建物跡群

中濃地域の丘陵斜面から次々と見つかる謎の遺跡群
発掘調査で出土した邪馬台国時代から古代の遺物を紹介し
その謎に迫ります

展示解説

第1回 2月14日（土）

第2回 3月7日（土）

(ともに13時30分～14時15分)

センター職員が判りやすく展示解説をします

令和8年1月17日（土）～3月8日（日）

岐阜県図書館 2階企画展示室Ⅱ

休館：月曜日（ただし2/23〔月・祝〕は開館）
1/30（金）、2/24（火）、2/27（金）

〒500-8368
岐阜市宇佐4-2-1
TEL: 058-275-5111

【お問い合わせ】岐阜県文化財保護センター調査課 TEL: 058-237-8550

観覧無料

展示概要

本展示は、岐阜県文化財保護センターが過去に行った数々の発掘調査の中から中濃地域の特色ある遺跡を取り上げるもので、この地域の遺跡を扱った展示は過去2回開催しましたが、今回は関市の「関テクノハイランド」と、富加町の「東海環状自動車道・富加関インターチェンジ」建設工事に伴い発掘調査された砂行遺跡・南青柳遺跡・深橋前遺跡・大平前遺跡・後平遺跡の5つの遺跡群を紹介します。

これらの遺跡で注目すべきは、通常人々が暮らすには適さない丘陵斜面から様々な遺構が数多く検出されたことです。特に弥生時代後期には、竪穴建物が密集して建てられ、大きなムラが形成されていることが判りました。古墳時代には、平地を見下ろす尾根の頂に当地のリーダーたちの古墳が代々築かれました。また奈良時代には、丘陵斜面が火葬墓などの墓地として選定されたほか、平安時代には山の傾斜を利用して窯が築かれ、陶器生産も行われました。これらの遺跡から出土した多様な遺物を通して、急斜面に築かれた「家」と「墓」、そして「窯」の謎に迫ってみたいと思います。



深橋前遺跡出土 土器（3号方形周溝墓）



深橋前古窯出土 灰釉陶器



後平茶臼古墳出土 須恵器 脚付短頸壺

【主な展示品】

※展示品は都合により変更となる場合があります

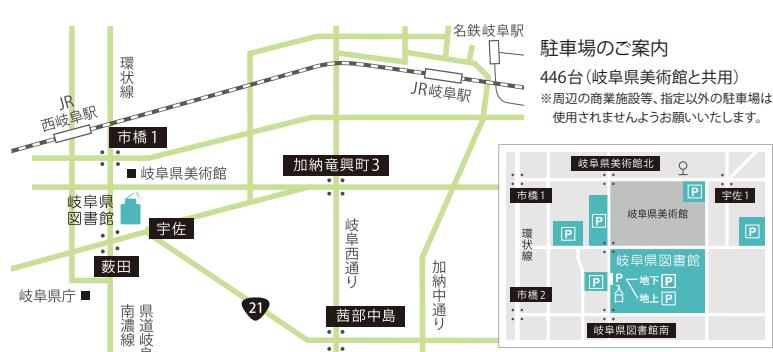
砂行遺跡（弥生土器壺、甕、高杯、器台、磨製石鏃）/ 砂行大溝（須恵器大甕、脚付壺）/ 砂行火葬墓（須恵器 提瓶）
南青柳遺跡（弥生土器パレス壺、台付鉢、器台、打製石鏃、砥石）/ 深橋前古窯（灰釉陶器碗、皿、長頸瓶、窯道具）
深橋前遺跡（弥生土器壺、高杯、S字状口縁台付甕、扁平片刃石斧）/ 深橋前火葬墓（須恵器横瓶、小壺）
大平前遺跡（須恵器蓋杯）/ 後平遺跡（弥生土器壺、甕、高杯）/ 後平茶臼古墳（円筒埴輪・朝顔形埴輪）



深橋前古窯 窯体（全長 5.6m）

会場：岐阜県図書館

〒500-8368 岐阜市宇佐 4-2-1 ☎058-275-5111



●JR 西岐阜駅より徒歩 14 分

●西ぎふ・くるくるバス（大人 100 円／小人 50 円）

JR 西岐阜駅南口より乗車（約 5 分）「県図書館・美術館」下車すぐ

●岐阜バス（有料）鏡島市橋線 市橋行

JR 岐阜駅（6 番乗場）／名鉄岐阜駅（1 番乗場）より乗車（約 15 分）

「県美術館」下車徒歩 3 分